

## DUO 森友嵐士(T-BOLAN)×小島良喜(Pf.)



T-BOLAN  
森友嵐士

90年代の日本音楽シーンを代表するロックバンドT-BOLANのヴォーカリストとして、【離したくはない】【マリア】など数々のミリオンヒットを生み出し、日本の音楽史にその名を刻む。現在はアーティスト活動に加え、「共創による地域創生」や「持続可能な社会の在り方」をテーマに、全国各地で講演・プロジェクトプロデュース・社会活動を展開している。

2024年には沖縄にて、ハンディキャッパーやシングルマザー家庭を優先対象とした7500人規模の無料招待イベントを開催。音楽・福祉・地域コミュニティを融合した新しい社会文化モデルとして注目を集めた。

また、グリーンエネルギーや循環型社会への関心も深く、「人・自然・文化の共存」をテーマにした未来型プロジェクトにも携わる。大学時代に学んだ化学・医学分野の知識も背景に、精神性と科学性の両面から“人間の本質的な豊かさ”を探究し続けている。

独創的な墨象芸術、音楽、言葉、社会活動を横断しながら、既存のジャンルや業界の枠を超えた“文化創造”を実践。

現在は、次世代へ向けた持続可能な社会と新しい価値観を提唱する表現者・プロデューサーとして国内外で活動している。



小島良喜

1974年以来、band活動を始め、Star King Delicious、Kuwana Masahiro、Baker's Shop、塩次伸二などのロック・R&Bアーティストのキーボード・プレイヤーとサポートミュージシャンとして活動していた。1986年以来1年間だけ、彼はKUWATABANDのメンバーでもあった。

1980年代、ロサンゼルス、オークランド、サンフランシスコのトップミュージシャン、ジェフバクスター (Steely Dan Dooby Brothers .etc)、ゴードン・エドワーズ (Stuff.etc)、カルロス・ベガなど多くの地元ミュージシャンとのセッションに参加。彼はまた、世界の多くの有力ミュージシャンと共演している。

1994年後半からルイジアナ州ニューオーリンズに移り、Wild Magnolias、Rewardsなどのメンバーとして活躍した。彼は米国とヨーロッパで数多くのツアーを行い、何十万人もの人々が集まる「ニューオーリンズジャズ&ヘリテージフェスティバル」に出演した。ニューオーリンズでは、ゴスペルの教会でも演奏していた。日本に帰国した後、彼はアルバムの録音、ライブ・コンサートのサポート、そして多くのアーティストのレコーディングにも参加、日本に帰国後ピアノトリオ、コジカナツルで3枚アルバムをリリース、2008年には最初にソロ・アルバム【KOJIMA】をリリースし、音楽関係者からも好評を得た。

2016年に【KOJIMAピアノソロ/アンソロジー】がリリースされた。彼は井上陽水のツアーメンバーでもある。小島は以前からソロピアノツアーを行っている。また、山木秀夫、と共にピアノトリオとして活躍している。

2023年にもピアノソロアルバムEmbraceを2枚組で発表。多くのセッションを46年以上に渡り行って来た。幅広く、多種多様、色々ミュージシャンとも今後共演するだろう。



### 宝くじの収益金は

学校、図書館等の教育施設をはじめ、公園、社会福祉施設等の建設改修など、皆様の日常生活に役立つように使われています。